

広島中央公民館フェスティバル 市民が法輪功を体験

広島の法輪功（ファールンゴン）学習者（以下、学習者）は3月5日、広島市中央公民館で開催された公民館フェスティバルに参加した。イベント中、学習者はステージでの功法実演や気功を教える活動を通じて、地域の人々に法輪功を紹介し、人々から好評を博した。中には「法輪功を学びたい」という市民もいた。

新型コロナの影響で3年間中断し、今年再開された中央公民館フェスティバルは、地域の住民たちにとって待ち望んでいたイベントとも言える。また、中央公民館は広島市の華人が集中している地域に位置しているため、中国人の観客が多いことも、中央公民館フェスティバルの大きな特徴である。

腰太鼓と煉功を披露

5日の午前中、学習者による法輪功の五式の動作と腰太鼓の舞が行われ、会場は満席になり、座席の両側の通路や後



■煉功動作を披露する法輪功学習者

ろも立ち見の観客でいっぱいになった。学習者はまず、中国伝統の腰太鼓の舞を披露し、会場を盛り上げた。

学習者が法輪功の五式の動作を実演するとき、観客は美しい煉功音楽に合わせ

て舞台上の動きを真似し、動きはとても揃っており、舞台と観客が一体となって、まるで大きな煉功場のようなであった。ステージを終えた学習者が舞台から降りた瞬間、会場全体から大きな拍手が沸き起こった。

学習者のステージが終了した後、中央公民館の法輪功教室の時間について詳しく尋ねる市民や、午後の気功体験に申し込む市民もいた。

「この気功は心地よい」

午後の気功体験で、法輪功の功法を習った市民は非常に強いエネルギーを感じ、窓を開けていても暑いと感じる市民もいて、終わった後は皆がとても心地が良いと話した。

ある女性は、通院することが多く、薬を飲むのを恐れていると言っていた。気功体験の後、女性は「この気功はとても心地よく感じるの、今後は都合が合えば煉功場にも行きたいと思います」と話した。

気功教室に申し込む

吉川さんは、NHKのテレビ番組でドキュメンタリー映画『馬三家からの手紙』を見たことがあり、非常に衝撃を受けたという。中国での法輪功への迫害を知り、同時に法輪功学習者は本当にすごいと感じたと話す。

実際に法輪功の動作を体験した吉川さんは、功法の素晴らしさを実感し、中央公民館の気功教室に申し込んだ。

米下院：中国共産党の臓器狩り 罰する法案可決

米国下院は3月27日、413票対2票で「2023年強制臓器摘出停止法案」(Stop Forced Organ Harvesting Act of 2023)を可決し、生体臓器収奪の犯罪を罰することを決定した。

これは、アメリカが初めて（象徴的なものではなく）立法によって、中国共産党による良心的な囚人への臓器狩りに対応したものである。

最高刑罰：20年の懲役刑および100万ドルの罰金

「2023年強制臓器摘出停止法案」の全文の要約抜粋は次の通りである。

この法案は、臓器販売に関与する個人および法人に制裁を科し、（アメリカ）国務省に対して臓器販売犯罪者のパスポートの取り消しを許可する。

具体的には、（アメリカ）大統領は（1）臓器摘出を手助けし（2）臓器摘出のために人身売買を行う人々に関する人員名簿を議会に報告する必要がある。リストに名前のある人について、大統領は資産凍結およびアメリカへの入国制限を課す必要がある。

さらに、（アメリカ）国務省は、次の人々の個人パスポートを拒否または取り消す必要がある。1. 利益追求の



ための目的により意図的に人体の臓器を移植した人で、連邦裁判所で有罪判決を受けたもの。2. 犯罪を犯した際にパスポートを使用したか、または国境を越えた人。

法案によると、臓器摘出に関与した者への罰則には、最高25万ドルの民事罰金と、最高100万ドル、20年の禁固刑が含まれる。



臓器摘出は戦争犯罪

この法案の主要な提案者であるニュージャージー州の共和党下院議員クリス・スミス氏はメディアに対し、臓器摘出は残酷な行為であり、人道に反する犯罪で、戦争犯罪でもあると述べたうえで、「これは中国の罪のない人々に対する戦争行為です。習近平氏

は直接的な責任を負うべきですが、この行為に従事する人々も非難されるべきです」と語った。

報道によると、共和党の連邦上院議員トム・コットン氏や民主党の上院議員クリス・クーンズ氏ら十数人の上院議員が、この法案を共同で提出したという。

法輪功オンラインレッスン

日本語サイト開設

世界的にコロナウイルスが拡大している今、多くの人が免疫力を高めて健康を維持する方法に関心を寄せている。

日本では健康面で法輪功への関心が高まる中、法輪功を教えるオンラインレッスンの日本語サイトを開設した。これまでに東京、大阪、奈良、山口、広島、鹿児島など、日本全国からの受講者が集まっている。

法輪大法（法輪功とも呼ばれる）は、古代中国の気功修煉法で、高い効果を実感できる功法である。5セットのエクササイズ（功法）は簡単に習得でき、「真・善・忍」という理念に基づいて修煉することで、心身の健康を改善することができる。

新しい学習者の桐生さんは「私にとって法輪大法は、より良い未来への扉です」と語る。

オンラインレッスンの担当者によると、初めて習う人もいれば、以前習ったことがあ

て気功教室（煉功場）に行く時間がなかった人もいう。授業をより効率的にするために、少人数制にして、一人一人が必要なサポートを受けられるようにしている。

受講者のニーズに対応するために、法輪功の書籍と一緒に学ぶいろいろな時間帯を設けた。このため、新しい学習者のほとんどが継続して学習し、中には毎日のように書籍の勉強会に参加する人もいう。

ここで、法輪功を初めて学んだ後の変化を語った受講者の感想を紹介する（名前は仮名）。

50代の桐生さんは、足が少し不自由で、夜は眠れず、情緒不安定にもなり、精神的にもかなりまいっていたという。生きる希望を見出すために、オンラインの法輪功レッスンに申し込んだ。桐生さんは「功法を体験していると、体が熱くなって汗が出てきました」と語った。



オンラインで気功体験

世界で1億人が愛好する気功の、無料オンラインレッスンです。まったく初めての方、初心者の方も参加できます。自宅や好きな場所で、お気軽に体験してみませんか？

法輪功の創始者・李洪志先生の新刊『なぜ人類はいるのか』

桐生さんは、最初の頃は静かに書籍を学ぶことができず、少ししか読めなかったという。「まるで新しい世界への扉が開かれたように感じました。希望を与えてくれて良かったです。また、睡眠の質が向上し、以前よりも長く眠りにつけるようになりました」と興奮気味に語った。

鈴木さんは、「私は運動が苦手なのですが、法輪功の動きは癒されますし、覚えやすいです。煉功の後はとてもリラックスでき、体が温かくなります」と感想を述べた。

80代の山口さんは、3年前に法輪功の存在を知ったが、コロナウイルス流行の時期で、オンラインレッス

ンを知ってすぐに申し込んだ。

以前は、血行不良や体の痛み、肌あれなどがあったそうだが、習い始めてから痛みが和らぎ、顔色も良くなったという。山口さんは「法輪功を学んだことで、生活や健康に大きな変化がありました」と言っている。

メキシコの市議会議員 真善忍美術展を人々に勧める

メキシコのプエブラ市とグアナフアト市で2月中旬から3月中旬にかけて、「真・善・忍美術展」が開催された。

プエブラ市のカーラ・パラシオス議員は、作品は非常に意義深く、真・善・忍という美しいメッセージを多くの人々に享受してほしいと話した。

美術展では、12人のアーティストによる30点の油彩画が展示された。彼らは、世界のさまざまな地域からやってきて、それぞれの背景を持っており、みな法輪功を実践している。それらの実践により、彼らの豊かな人生経験が絵画の中に結集され、表現されている。

画家たちは、法輪功が中国で迫害されている真実を広く伝えるため、中国で起きた実際の出来事を作品のテーマとしている。



2月21日、ペドロ・アンヘル・パル・ペレス文化会館にて、美術展のオープニングセレモニーが開催された。当日は多くの観客で賑わい、美術展に訪れたプエブラ議会人権委員会委員長のカーラ・パラシオス市議員は、「これらの作品を見て衝撃を受けました」と語った。

パラシオス議員は、「美術展は、人権という大義のために努力を続ける人達に対して、鼓舞してくれるものだと思います。今の私たちには難しい課題ですが、人権支援は大きく前進しており、まだまだやるべき事はたくさんあるのです」と述べた。

作品の一つである『孤児の痛み』は、特にパラシオス議員を感動させた。この絵には、中国で法輪功を学んでいるとの理由で迫害され、死に至った両親の遺灰を抱いて泣いている少女が描かれている。

パラシオス議員は、「この絵はとても考えさせられ

て解説するスタッフ

ます。なぜなら、私は母親として、子供たちがこの世界で生きていく上での試練を目の当たりにし、子供たちがこのような悲劇的な状況に直面すると、本当に簡単に傷ついてしまうからです。少女の痛々しい顔を見て、母親である私の内面に触れました。親として、子供の痛みを見ることは、私たちが感じる最大の痛みです」と述べた。

また、パラシオス議員は、中国共産党による残忍な迫害を受け、表現と信仰の自由が侵害されている中国の法輪功学習者に対して、彼らが耐えている苦しみに同情を示した。そして、「私達の社会にとって重要なメッセージである『真・善・忍』が禁止されていることは、非常に悲しいことだと思います。私達の世界はもっと人道的であるべきです」と語った。

ストレス解消・心身の健康

法輪功はなぜ効果が高い？

「なぜ法輪功は心身の健康にこんなに効果が高いの？」と多くの人が関心を抱いている。ここでは、法輪功の効果を科学的観点から説明してみようと思う。

心身ともに健康にする「セルフケア」システム

2004年11月16日発行の『米国科学アカデミー紀要』で、ウィスコンシン大学の科学者たちが研究成果を発表した。それによると、「座禅」が脳の活動を促進し、明らかに「感情と幸福の調節」を担う脳の領域に働きかけていると結論づけている。

つまり、心身の両面から人の状態を調節するのに適しており、今では中国と西洋の医学界で研究されている健康法なのだ。西洋の現代医学では、すでに健康の多層的かつ多面的な性質を認識し、新しいモデルで明確に説明している。

それは「生態—心理—社会—精神」が相互に作用しているというものである。ある人の精神が健全ならば、その人の心の幸せと社会的行動にポジティブな影響を与える。そして、その結果として、身体が必然的にもたらされる。実際、伝統的かつ完全な漢方医学と修煉方法もこのモデルの考え方を内包しており、それは有効な一連の方法なのである。

法輪功の修煉は、心と体を同時に鍛える。最も肝心なことは「心性を修煉する」ことで、「真・善・忍」を理念として生活において実践する。真実を話し、善良な心を保ち、寛容であれば、自然と病気治療と健康維持の効果が現れるのである。これにエクササイズ（煉功）を加えて、身体の素質を変えるのである。五式の功法には、動功、静功（座禅）がある。



法輪功学習者は、心性の修煉を通して、精神状態を良好にする。人生の目的を正しく捉え、不安を減らし、悪い習慣を捨てるのである。

現代医学では、不安や依存症を多くの主要な疾病の高リスク要因として認識しているが、煉功で体を改善し

て病気を治療することができ、極めて重大な病気に対する抵抗力を強めることができるのである。

好中球が強くなり免疫力が強化

人の血液には、赤血球、白血球、血小板がある。白血球は体を守る主要な役割

を担うが、その白血球の約70%を占めているのが好中球だ。好中球の寿命はとても短く、血液中の半減期は僅か7時間である。体外ではさらに短く、低温で保存しても2～3時間しか生存することができない。

そのため、私達の造血器官である骨髄は、できるだけ早

く好中球を製造し補充しなければならない。体重50キログラムの人を例にすると、毎日500億個の好中球を生成しなければならない。

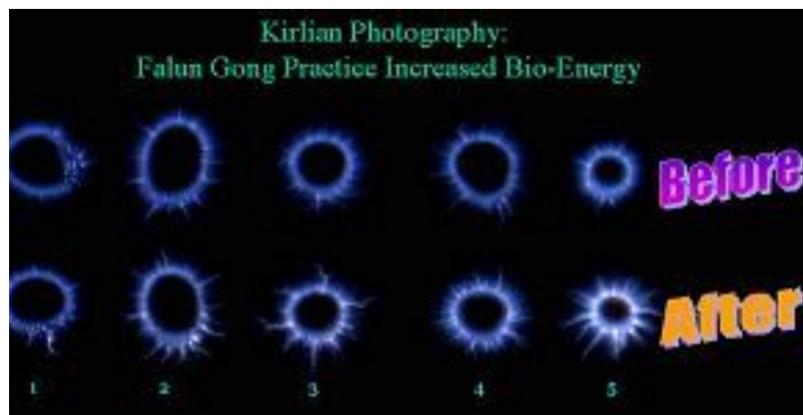
2005年、米国バイラー医科大学の科学者が論文を発表した。法輪功学習者の血液中の白血球は、一般の健康な人に比べて、好中球のファゴサイトーシス（食作用）と抗菌機能が大幅に強化されており、さまざまな外来ウイルスや細菌に対してより強い耐性があることが明らかになった。

また、法輪功学習者の好中球は、炎症刺激がない状態では生存時間が普通の人より長く、ファゴサイトーシス（食作用）も強いため、身体の保護に役立つという。

煉功で発生したエネルギーが細胞を活性化

2000年のカリフォルニア大学の研究者たちによる発見では、法輪大法の煉功場が心筋細胞の収縮張力を35%から

111%まで増加させている。つまり法輪功の煉功エネルギー場が、明らかに心筋細胞の収縮活動を強めており、これは法輪功の修煉過程で未知のエネルギー物質が生成され、生体システムに働きかけて細胞の活動を高めていることを示している。このエネルギーは、生体にとって有益な形で現れている。



■生体エネルギー画像技術により、法輪功の修煉が生体エネルギー場の強度を高め、身体のエネルギー循環を改善することが示されている。数字の1、2、3、4、5が付いている画像は、それぞれ煉功者の左手の親指、人差し指、中指、薬指と小指の煉功前（上）と煉功後（下）の生体エネルギー画像。図には示されていないが、右手の5本の指も同様の結果を示した。

心理的ストレスの軽減にも有効

2007年8月、米国カリフォルニア州サンディエゴ市で第65回国際心理学会年次大会が開催された。そこで、米国の科学者が『法輪大法の心身への影響に関する細胞生理学、心理学とエネルギー医学の科学的研究』と

いうテーマのレポートを発表した。

このレポートは十分なデータと実験結果を提供し、法輪功が心理的ストレスの軽減、心身の健康増進、現代人の多くの身体的・精神的疾患の治療、心理的・道徳的水準の向上、および潜在的な智慧の開発などに有効であることを証

明し、現代科学のさまざまな分野から詳細な分析を行った。このレポートは国際心理学会で大きな反響を呼んだ。

左図の実験結果によると、法輪功学習者が1時間座禅を組んだ後、指の生体エネルギーが著しく向上し、血気エネルギーの循環が改善されている。10本の指が全身の経絡に繋がり、煉功が全身の経絡の詰まりを解消し、生命の活力を回復し強めるという、非常に不思議な効果があることが分かった。

法輪大法の創始者の李洪志氏は法輪功に関する著作の中で漢方医学、西洋医学の病気治療、および法輪功の修煉による身体の浄化作用について洞察している。

「真・善・忍」に基づいて修煉し、五式の簡単で穏やかな動作を組み合わせることにより、法輪功学習者は極めて短期間に心身が健康になり、高いレベルに達することができるのである。

心と体を鍛える法輪功

5つの煉功動作

法輪功（法輪大法）とは？

法輪功（ファールンゴン）は法輪大法（ファールンダーファー）とも呼ばれ、古代から伝わる気功修煉法です。簡単で覚えやすい5セットのエクササイズを通じて体を鍛え、『轉法輪』の書籍を学び、「真・善・忍」の理念を目指して心を高めます。法輪功は全国各地の気功教室やオンラインでボランティアが無料で教えています。現在、世界130カ国以上で愛好されています。

真 善 忍

TRUTHFULNESS COMPASSION FORBEARANCE



1 第一セット 佛展千手法

身体を8つの方向へ伸ばしたり縮めたりする動作を繰り返します。



2 第二セット 法輪樁法

立ったまま瞑想に入る動作です。法輪を抱く4つのポーズがあります。



3 第三セット 貫通兩極法

両手を交互に9回ずつ上下した後、両手を同時に9回上下します。下腹部で手を時計回りに4周回します。



4 第四セット 法輪周天法

体に沿って陰面から陽面まで全面的に循環し、9回繰り返します。動作はゆるやかに、ゆっくりと、なめらかにします。



5 第五セット 神通加持法

座禅を組む動作です。心に慈悲を保ち、何も考えず、瞑想に入ります。

明慧ネットとは

明慧ネットは、1999年6月21日に中国語ウェブサイトを設置し、6月25日に正式に報道を開始して以来（日本語版は2001年7月に設立）、直接中国で入手した情報に基づいて、中国共産党の法輪功への迫害事実を暴き、法輪功について紹介すると同時に、この迫害によって中国本土の法輪功学習者の修煉の環境にもたらされた損失を挽回しようとしてきました。

明慧ネットは同時に3種類の読者に対して情報を発信しています。真相を知ろうとする人、法輪功学習者、そして迫害に加担している人です。今日まで、真相を伝え、迫害に反対する中で、明慧ネットはすでに世界中（特に中国本土）で独自の情報伝達のシステムを設立し、危険な状況の中、現地から直接入手した情報を毎日大量に発信し、中国国内及び海外の法輪功学習者の修煉体験、世界各国における報道、週刊、ラジオ番組、そして多言語の明慧ネットによる情報発信を行っています。

明慧ネット日本語版
<https://jp.minghui.org/>



法輪功を体験
してみませんか？



1時間半の無料オンラインレッスン
<https://learnfalungong.jp/>

子供のため 良い母親・良い人間になるために修煉を始めた

人生の苦楽を味わう

私は数年前に離婚を経験し、息子と二人暮らしをしています。離婚するにあたり、両親や姉、弟からは金銭的な支援もしてもらい、両親からは「子供を大学には通わせたほうが良い。しっかり勉強や部活もさせなさい」と言われ続けていました。息子にシングルマザーであることに引け目を感じてほしくなかったので、学校では「なんでもできる利口な子」になってほしいと思うあまり、自分の感情のままに叱責してしまうこともありました。

しかし、息子は中学校になっても、親が思うような方向には進まず、最終的には成績はどんどん

低迷、部活もやめてしまいました。私は、他の子と違う、「できる子」のルートから離れている息子をどう受け入れるべきか不安を感じていました。

しかし、一方で自分の人生を振り返ったとき、果たして、彼に自信をもって言えることがあるだろうか、と問いかけていました。確かに、私は中学生時代は成績もよく、国立大学にも合格しました。しかしながら、大学時代はモラルも相当低下し、社会人になったころには、利口に生きて、ニヒリズムに浸り、自分のことばかりを考える人間になってしまいました。当時はそのようなことを振り返ることなく、人生

の苦楽（結婚、出産、子育て、介護、転職、離婚）を経験しました。

私自身、「大学以降の生き方はなんであったのか、自分は果たして子供にとって良い大人になっているだろうか？自分は今、泥の中でもがいているのではないか？まずは、自分を正さないといけないのではないか？」と考えていました。

開かれた扉

人生に対して疑問であふれていた時、2022年、「法輪功」に出会いました。エポックタイムズで法輪功のことを知り、中国共産党の関連書籍『悪魔が世界を統治する』を購入しました。その中に法輪功のパンフレットが

入っており、しばらく眺めていました。そのパンフレットの表紙の女性が美しく、それだけで心が洗われる気がしました。しばらく、アパートの壁にそのパンフレットを飾っていました。すると日に日に興味がわいてきて、近くで教えてくれる人がいたらいいのにな、と思っていました。そして、法輪功のオンラインレッスン開催の案内があり、「これだ！」と迷いなく申し込みました。

驚きの効果

法輪功を学ぶと、不安な気持ちや恐れが解消され、気持ちが整うということを理解して



いましたが、まずは素直な気持ちでレッスンを受けてみようと思いました。一回目はまず第一から第三式の動作を学びました。終了後トレーナーの方と法輪功について、私の思いについて、今までの人生について語り合いました。そして、法輪功の著書を勧められたため、レッスンが終わってからすぐにホームページで『法輪功』を読み始めました。本の内容がとても興味深く、素晴らしいと思ったため、すぐにネットで本を注文しました。

驚いたことに、その効果はすぐに現れました。1週

間もたたないうちに、仕事で痛めていた右手が気が付いたら正常になっており、いくら仕事で酷使しても全く痛くなくなりました。さらに、不安になる心がいつのまにか消えていました。私は人の心の動きに敏感すぎるところがあり、いつも、仕事でミスをしたらどうしよう、陰で責められるのではないかと、人に嫌われたくないという恐怖心を抱えて仕事をしていました。

ところが、煉功を続けていると、職場で何を言われても心は平穏を保つことができ、また、冷静に対処することで失敗も抑制され、

次第に周りからも「確実に仕事を進める信用できる人」と評価されるようになりました。もともと、体調不良や精神不安でミスしてしまう傾向がありました。しかし、今ではどんな状況でも冷静に対応し、どんなに仕事量が増えても、何事もなかったように終わらせることができるようになりました。これは法輪功のおかげです。

私はさらに良い人間になるために、学法と煉功に励むようになりました。オンラインのレッスングループで平日夜の学法に参加すると

同時に、朝5時から煉功に参加するようになりました。

ある日、ある所に異変が起きました。体の一部に2週間連続で瘤やいぼが発生し、腫れて痛みを感じることもありました。私は驚きましたが、学習者が、先生が私の体に溜まっている悪いものや業力を消してくださいと教えてくれました。なるほどと思い、これは喜ぶべき状態だと考えて、修煉に励むようにしました。そうしているうちに、二つの瘤やイボは消えていました。同時に、職場での人間関係は日に日に円滑になり、何より変化が大きかったの

は、子供に対して私が怒る理由が見つからなくなり、毎日冗談を言ったり、真剣に議論したり、良い時間を過ごせるようになった事です。子供の考えていることを尊重し、彼の行動を待つことができるようになりました。

李先生に守られている

ある日の朝、私は息子の朝食の準備がいつもより10分程度遅れ、それにより、息子が学校に行く時間も遅くなってしまいました。バタバタして彼が出て行った後、学校のノートを忘れていたことに気が付きました。すぐ追いかければ間に合うの



ですが、「いや、気が付かなかった本人が悪い。甘やかしてはいけない」とそのままにしておこうと思いました。しかし、彼が出発時間が遅れたのは私のせいであり、必死になって自転車で息子を追いかけました。

ちょうど、彼が大きな交差点を渡ろうとしたときに、私は追いつきました。「ノートを忘れていたよ」と話しかけた瞬間、私の横に突然、車が侵入してきて、

急ブレーキをかけて止まりました。あと30cmで車にひかれるところでした。その車は赤信号で交差点に進入していたのです。我に返ったとき、私は言いようのない恐怖を覚えました。私が息子を追いかけてなければ、私の息子は交通事故に逢っていたかもしれないと。同時に、李先生にお礼の言葉を心で唱えました。

仕事が円滑に

私は5月に選挙ボランティアをはじめました。私が献身的に活動していたところ、その様子が党役員の目にとまり、いつの間にか支部の役員候補に推薦されました。しかし、私はそのような地位を求めていたわけではありません。私は執着心、歓喜心を放下し、平常心を保つよう努め、これは試練だと捉えました。その心がけにより、関係者とよく話し合い、円滑に進められました。

親子で熱から回復

息子もオンラインレッスンに参加して煉功の動作を学び、毎週2回レッスンに参加しています。私がみんなと学法と交流をしている時、彼もいつも聞いていたので興味を持つようになりました。

今は法輪功のおかげで、私は日常的な小さなケガや病気からも守られるようになりました。職場では高温に加熱した液体を取り扱います。

足や手に火傷を負う状況がありましたが、患部を優しくなでながら「法輪大法は素晴らしい！真・善・忍は素晴らしい！」と5～10分呟き続けました。そうすると、火傷は悪化することなく、赤みが引いて、何事もなかったような皮膚の状態に戻ることもありました。

一方、つい最近、私と子供は発熱し、38.5～39.5℃まで体温が上昇しました。しかし、李先生の講義を聞き、できるだけ煉功するようにすると、次第に熱は収まり、気分も良くなりまし

た。結局、下痢や嘔吐により、体に溜まっていた悪いものが排泄され、親子ともに病院に行くこともなく、数日で回復しました。この経験により、息子は法輪功のことを良いものであると確信したようです。

結び

法輪功の修煉を始めてまだ1年も経っていませんが、金銭にとって代わることは決してできない尊さを心から感じています。また、何より、自分が毎日内に向かって問いかけ、良い人間であることに努めることで、子供にとっても良い母親、良い人間になれると確信しています。

これからも、法輪功を学び、周りの人々にも幸せを感じてもらえる一助になればと思います。

『轉法輪』を読んで 550以上あった血糖値が正常に

2001年11月26日から12月20日まで私は東京都練馬区にある「浩生会スズキ病院」に糖尿病で入院しました。入院中に幸運にも貴重な書籍である『轉法輪』を拝読しました。そして、それまでの自分の生き方が間違っていたことに気づき、道徳心を向上させなければならぬと思いました。その一念の結果、入院時は550以上あった血糖値が約6カ月後の2002年5月15日に正常値に戻りました。病院から糖尿病の完治を告げられました。

その後の20年間、不定期に医師の指示で血糖値の検

査を行っていますが、現在まで毎回、正常です。

もし『轉法輪』を拝読していなければ私は自分が作り出したストレスに押しつぶされ、現在は生きていなかったと思います。自分の生き方が完全に間違っていることに気づかせてくださったのは大法の法理です！

錯覚を利用した成功の代償

会社員として働いていた私は、自分の仕事の成績を上げるために錯覚を利用した手法を使っていました。営業部門に異動した後、その手法を活用してトップ管

業マンになり、その後、外資系IT企業に入社するまでに上り詰めました。しかし、錯覚を利用した手法にはある問題があり、それは実際に持っている以上の能力を自分が持っていることと人々に勘違いさせてしまうことでした。それにより、実際の自分の能力より高い仕事を与えられ、架空の能力を高めていかなければならぬ状況に陥りました。

法律には反していないが道徳には反している手法

私は以前、法律には反していませんが、道徳に反し



ている手法を使っていました。例えば、営業部門では見込み客に関する営業情報を入手していました。営業

情報を独り占めすることは道徳には反していますが、法律違反ではありません。また、プレゼンテーション

の際に相手の説得のために嘘泣きすることもありましたが、嘘泣きすることは法律には触れませんが、真・善・忍から逸脱しています。

自分の手法がもたらした糖尿病という代償

外資系IT企業に入社した時の職種はテクニカルサポートでした。外資系IT企業でのテクニカルサポートに求められるスキルである英会話力とIT知識が不足していたため、ストレスが心身に大きな負担を与えました。当時は、英会話やITの

スキルがなくても自分の手法を使えば外資系IT企業のテクニカルサポートくらいできると思っていました。が、現実はその甘くはありませんでした。

英会話もITスキルもないことを隠して仕事をするのは、とてつもないストレスとなり、このストレスが原因で糖尿病を発症し、2週間の入院を余儀なくされました。

入院時の血糖値は550以上でした。入院中に法輪功の書籍『轉法輪』を読み、自

分のやり方が間違っていたことに気づきました。修煉によって心性を向上させることを学び、真・善・忍を心がけるようになりました。『轉法輪』を読んでいたなら、今までの手法でストレスを抱えたまま仕事を続けていたかもしれません。もし、退院後も今まで通りの生活をしていたならば、私は自分で作り出したストレスに押しつぶされ、現在は生きていなかったと思います。

『轉法輪』がタバコ依存症から私を救った

退院後、タバコとお酒をやめました。禁煙は私にとって大きな関でしたが、オフィスは禁煙でしたので、私の目の前でタバコを吸う人はいませんでした。しかし、ある日、同僚と一緒にカフェに入った時、同僚が私の目の前でタバコを吸い始めました。「タバコを1本いただけませんか？」という言葉が、喉元まで出て来ましたが『轉法輪』を拝読していたことで、タバ

コの誘惑に勝つことができました。もしあの時タバコを吸っていたら、おそらく私はタバコを一生やめられなかったと思います。

奇跡の糖尿病完治

血糖値が550を超える糖尿病患者が6カ月で完治するというのが通常ありえないということが、医療関係者ならおわかりだと思います。しかし、退院して6カ月後、医師から「糖尿病が完治しました」と私は告げられました。これは奇跡だと私は思います。

明慧書籍の紹介



過去20年間、中国本土の法輪功学習者が直面してきた迫害状況。

中国共産党が他国の指導者や企業を脅迫することにより、海外まで迫害を拡大してきた実態を伝える。

電子書籍
(PDF版)
購入はこちら



『明慧二十周年報告書 中国で起きている20年間にもおよぶ法輪功への迫害』



法輪功が中国で伝えだされた初期から、世界中に人気が広がる現在までの状況。

迫害制止を求めた勇気ある行動、世界各地からの声援などを紹介。

電子書籍
(PDF版)
購入はこちら

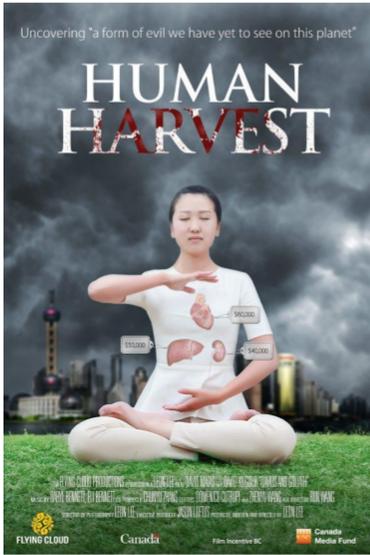


『明慧インターナショナル (30周年記念 特別号)』

日本人評論家の証言

中国で生体臓器狩りの現場を目撃

2007年に中国共産党(以下、中共)による臓器狩りの現場を目撃した日本の経済評論家・菅原潮氏が、6月20日に東京で『大紀元時報』のインタビューに応じた。



菅原氏は、中共に対してしばしば批判の言論を発するネット上の有名人であり、ツイッターで22万人のフォロワーを持ち、経済に関する本を十数冊出版している。

2007年、菅原氏の友人の兄は肝臓が悪化し、余命宣告を受け、臓器移植を提案された。その友人はまもなく、仲介業者を通じて中国でドナーを見つけ、手術を受ける準備に入った。しかし、手術前に病院が用意したアルブミンという血液製剤が偽物で、手術には使用できないことが判明した。友人は菅原氏に、日本でアルブミンを調達し、北京に持って来てほしいと頼んだ。そこで、菅原氏は、中共による

法輪功学習者からの生体臓器摘出の闇の部分を知ることができた。

記者：当時の経緯を話して頂けますか？

菅原氏：2007年、友人の兄は肝臓が悪化して、「肝臓移植しかない」と言われました。当時、肝臓移植はアメリカかフランス、または中国でしかできなかったのです。アメリカやフランスは待ち時間が長く費用もかかる上、法的規制も厳しいので、彼は中国での手術を選択しました。

北京武装警察総合病院では、日本からの患者だけでなく、サウジアラビアやドイツの富裕層が手術を受けに来ることもあるそうです。病院側

は「ドナーはすぐに見つかります。費用は3000万円です」と言いました。

2007年8月、中国側から「ドナーが見つかりました。いつでも手術ができます」と伝えられました。

私は手術に必要なアルブミンの用意を頼まれ、それがきっかけで、内情を知ることができました。

中国側の仲介者の指示に従い、大連から入国し、彼らが指定した便で北京に向かいました。北京では、トラブルに見舞われました。当時、武装警察の幹部が迎えに来てくれたのですが、預けた荷物の中に薬があるのを空港職員が見つけて、許可なく持ち出すこ

とはできないと言われて、身柄を拘束されてしまいました。

空港警察、公安警察、そして武装警察は同じシステムに属していないため、互いに譲らず、何時間も言い争っていました。結局、政治家のコネを活かして、ようやく空港から出られるようになりました。

病院で、受付担当の医師から「ドナーがすぐ隣にいるから、見てみますか？」と言われました。彼が布のカーテンを開けると、ベッドに横たわるドナーが見えました。21歳の若い男性でした。麻酔が効いていて、意識がないように見えました。この医師は日

本に留学したことがあり、日本語が話せます。

彼は私に、ドナーは死刑判決を受けた悪人で、どうせいずれ死ぬのだから、死ぬ前に少し貢献してもらってもいいのではと、「とても若くて、非常に健康な肝臓を持っています」と続けました。

何をする人なのかと尋ねてみると、彼は「法輪功学習者です」と答えました。

記者：臓器移植の際、彼はまだ生きていましたか？

菅原氏：もちろんです。私が見に行ったときはまだ生き

ていましたが、臓器を摘出したらその人が死んでしまうわけですから、生体移植なのです。臓器摘出と同時に手術するのが一番効果的です。

記者：ご友人はどれくらいでドナーを見つけましたか？

菅原氏：彼はまず中国に行って検査を受けて、それから日本に帰って待っていました。その1カ月後、中国側は一致したドナーを見つけました。

記者：武装警察総合病院は臓器移植手術を積極的に展開していますか？

菅原氏：彼らの話によると、欧米、ロシア、サウジアラビア、その他の中東諸国の富裕層が手術のためにやってくるそうです。何人かの欧米人を見かけました。多くの日本人も手術をしに来ていると聞きました。

患者さんたちには特別な待機場所(ホテル)が用意されていて病院は定期的に彼らの健康診断を行っていました。

記者：中共の高官も関与していますか？

菅原氏：もちろんです。彼らは、中共の高官が関与しな

いと臓器移植ができず、多くのことが対処できないと言っていました。

空港では、高官専用の特別な出口、通路、秘密の地下トンネルを使っていて、他の車は見かけませんでした。当時、迎えに来てくれた高官のほかに、銃を持った武装警察が4人いました。空港から北京に入るまで、武装警察の車が道を開けてくれていました。

記者：日本の主要メディアもこのことを知っていると思いますか？

菅原氏：彼らは知っていますが、報道しないだけです。中国での事業展開を続けたいからです。

当時は日本の大手メディアの記者もいて、臓器移植を取材したいと申し出ましたが、病院側に断られました。

中国の医師たちも、自分が悪いことをしているとは思っておらず、死刑囚を処理していると考えていました。皆が洗脳されていて、皆がそう考えていました。

実に残酷なことです。

2023年3月、法輪功学習者116人 不当判決を宣告される

2023年3月、中国の法輪功学習者116人が不当判決を宣告された。19の省、自治区、直轄市に分布し、60代以上が27人、最年長者は83歳。中国共産党の裁判所、公安は学習者から現金計504,500元(約1,009万円)を強要した。3月1日から31日まで、明慧ネットに掲載した情報の統計。

広東省、83歳の李順華さんに不当な判決

広東省茂名市の法輪功学習者・李順華さん(83歳女性)は2月28日午前10時、茂南区裁判所に懲役1年、罰金3千元(約6万円)の不当な判決を宣告された。

李さんは以前、リウマチ、腎臓炎、メニエール病、坐骨神経痛などを患い、毎日病に苦しんでいた。法輪功を学んでから6カ月で完治した。

3月6日午後、家族は紆余曲折を経て市第一留置場で李さんと面会した。家族は李さんがめまいを起こし、視野がはっきりしない症状に苦しんでいることを初めて知った。

「迫害は完全に違法」

山東省威海市、78歳の法輪功学習者・叢蘭英さんは1997年から法輪功を学び、心臓病、頸椎ヘルニアなどの病気が完治した。

2022年10月、叢さんは自宅で市環翠区公安支局の国内安全保衛部門(法輪功迫害の実行機関)の警官に身柄を拘束され、栄成市裁判所により、「法律を破壊した罪」で懲役4年、罰金2万元(約40万円)の不当な判決を宣告された。

叢さんの娘のカナダ籍の叢新苗さんは、モンリオール市で開催された集会で、中国共産党に対し、直ちに無条件で母親の叢蘭英さんを解放するよう呼びかけた。叢新苗さんは、「中国共産党による法輪功への迫害は法的根拠がなく、迫害は完全に違法です」と述べた。

電波ジャックの勇士・魏俊仁さん 20年冤罪後も嫌がらせ

甘肅省平涼市の法輪功学習者・魏俊仁さん(54)は2002年、迫害停止を呼びかけるため、ケーブルテレビの電波ジャック放送に参加した。

中国共産党はメディアを通じて法輪功を誹謗中傷しており、魏さんらは市民たちに真実の情報を伝えるため、行動を起こした。

2002年10月27日、魏さんは蘭州城関裁判所から不当に懲役20年の実刑判決を言い渡され、蘭州刑務所に拘禁された。魏さんは刑務所で、トラの椅子(右図)に縛り付けられ、殴る蹴る、

電気ショック、睡眠剥奪などの拷問を受け、意識不明に陥った。

昨年8月13日、刑務所から帰宅した魏さんは、すでに肉親を失い家族が離散したが、その後も地元の公安局と検察庁から嫌がらせを受け続け、生活が困難になっている。



法輪功の反迫害活動

日本の政治家から応援メッセージ

1999年7月20日、江沢民率いる中国共産党（以下、中共）政権は、真・善・忍を修煉する法輪功団体への弾圧を命じた。

明慧ネットの統計によると、過去20年以上にわたる迫害で、中共によって迫害され亡くなった、本人確認ができる法輪功学習者はすでに4,900人以上である。情報の封鎖、特に中共が法輪功学習者の臓器強制摘出を隠蔽しているため、実際には迫害による死亡者の数は4,900人をはるかに超えている。

世界各地の法輪功学習者は、中国の学習者を支援し、法輪功が迫害されている実態を共に広め、声を上げ、迫害を制止してきた。

毎年7.20の期間に、日本の法輪功学習者は、迫害の停止を呼びかけるさまざまな活動を展開している。昨年の期間中には、日本の政治家が新唐人テレビを通じて法輪功学習者への支持を表明した。以



■元内閣府大臣政務官・長尾敬氏

下、インタビューの概要を紹介する。

元内閣府大臣政務官の長尾敬氏は「7月20日は、法輪功のみなさんが中国共産党から深刻な人権侵害・弾圧を受け始め、23年という節目を迎える日であります。私も、すべての日本人や世界のみなさんがこの現実にしっかりと向き合い、心に刻み、一刻も早くみなさんが当たり前前の日常を過ごす

ことができるよう世界的な規模、大きな世論で応援をし、問題解決をしていきたいと思っています。どうかみなさん、希望の光は間違いなくそこにあります。最後まであきらめず一緒に戦っていきましょう」と語った。

兵庫県議会議員の長瀬猛氏は「7月20日で法輪功の皆様が中共政府によるこの不当な弾圧を受けて23年の月日が流れたと伺いました。



■兵庫県議会議員・長瀬猛氏

法輪功を信じて集う人々を弾圧し、そして虐殺し、世界にその事実を隠し、まるで皆様があそをついているかのような喧伝をしています」と語った。

また「民主主義国家の地方議員の一人として絶対に許すことはできません。これは法輪功の皆様だけの戦いではありません。私たち自由主義を信奉する民主主義国に住む者にとってファ

シズムとの決定的な戦いが近づいている。これは何も戦争だけではなく、言論も経済も文化もその戦いにまさに直面しているのだと、私も責任をもってこれから政治活動をしていきたいと思っています。みなさん、私たち連帯してファシズムと戦いましょう」と語った。

政治評論家で自由民主党議員の三井田孝欧氏は「中国共産党に法輪功の皆様が迫害されて、これに対抗し続けて23年というお話を聞いています。今年の7月20日が迫害が始まった日に当たるというお話を聞いています。私も法輪功の皆様が中国共産党に迫害されることに対して反対運動をしております。今回23年目ということですので、この中国共産党による法輪功の皆様への迫害の事実をより多くの日本国民、いえ、世界の方に伝えていくことを私も協力して一緒に中国共産党と戦ってきたいと思っています」と語った。

兵庫県芦屋市議会議員の川上朝栄氏は「この7月20日に中国共産党による法輪功学習者への迫害が始まって23年目を迎えるとお聞きしました。まだまだこの問題は癒えることなく、今もって世界中で継続中です。私は先日、神戸元町駅前で法輪功学習者の方々と中国共産党による人権弾圧問題を取り上げる署名を行ってまいりました。まだまだ日本にはこの問題を知らない方々が多くいらっしゃいます。一地方議員としてこの問題を取り上げ、皆様にも知ってもらい、この問題が大変重大な問題である、日本にとっても他人事ではないということを決意を持っています。これからも皆様と共に力を合わせ頑張っていきます」と語った。

兵庫県尼崎市議会議員の岸田光広氏は「この7月20日で中国共産党が法輪功の方々に迫害を始めて23年と伺いました。この迫害は許されざる人権問題だと考えています。人権問題は世界的な問題であり、私たちは解決をしていか



■兵庫県芦屋市議会議員・川上朝栄氏

なければなりません。みなさんと一緒にこの問題に取り組んでいきたいと思っています」と語った。

兵庫県西宮市議会議員の矢野正史氏は「法輪功の皆様に対して、中国共産党が非人道的な行動を行っていることに対して非常に遺憾です。中国共産党が人間の尊厳をつぶすようなことを行っているということは非常に許しがたいことです。こういった報道を通じて、世界のみなさんが中国共産党

が法輪功に対して行っている行動に対して非難して止めるように運動をしていくことを望みます」と語った。

ニューレジリエンスフォーラム事務局の上松昌美氏は「法輪功の精神『真・善・忍』、こういう精神というのは非常にグローバルな、どの世界、国境、人種を越えて、そして人間である以上、普遍的な価値観であり、生き方であろうと思っています。23周年という本当に長い間、法輪



■兵庫県西宮市議会議員・矢野正史氏

功の皆様が頑張ってきたこと、本当に感謝を申し上げます」と語った。

そして「これからも弾圧に負けないで頑張りたいと思います。法輪功のみなさんは本当に地獄のような生活を送っておられるのだと思いますけれども、しかし必ずや真・善・忍という精神を通して歩み続けていけば、必ずそういった運動というものが広がり、そして支援をする輪

も広がっていくものと期待をしています。共に頑張りたいと思います」と語った。

奈良県橿原市市議会議員の吉川浩央氏は「法輪功の迫害について、虐待、迫害、虐殺というものが中国国内で行われているという事実を知り、何とか地方議員という立場ですけれども、何とかできないかという思いで活動してきています」と語った。

さらに「1999年から法輪功に対する迫害が始まったわけですが、ちょうどその頃から臓器移植の手術の数が中国国内で爆発的に増えています。その証拠を鑑みると、おそらく中国国内で臓器をすぐに提供できるような仕組みができていないのかと、それが母体になっているのが法輪功の人たちであると、私は解釈しています。法輪功の皆様、ありとあらゆる迫害を受けている方々、決して暴力に屈せず、私たちも可能な限り支援をしていきます。どうか一緒に頑張りたいと思います」と述べた。

蔵字卵

2001年4月20日のことです。黒竜江省建三江にある農業開墾局七星農場チームの自宅で、定年退職した劉学順さん（61歳）が飼っていたガチョウが、文字のある卵を産みました。

きちんとした五つの文字で、劉さんの奥さんが卵を洗っている時に気づきました。その中の四つの文字は、卵の殻の周りに均等に並んでいました。

そして五つ目の文字は、卵の殻の底にありました。四つの大きな字は「神-已-来-到」（神はすでに来ました）で、殻の底にある小さな字は「王」です。五つの文字は、建三江農業大学教授の鑑別を経て、人工的なものではないと結論づけられました。

このことは当時大騒ぎになり、多くの人が劉さんの家を訪れてこの不思議な卵を目にしました。一方で地元のテレビ局は撮影したものの、報道はしませんでした。その後、中国共産党の弾圧により「蔵字卵」は行方不明になりましたが、映像資料は保存されていました。

当時の関係者によると、「天文卵」よりも「蔵字卵」の方が貴重だったと言います。「天文卵」とは、家畜が何らかの天文現象が発生した際に、その天文現象に関連する模様を持つ卵を産むことです。「天文卵」は国内外に実例がありますが、中国の「天人合一」の伝統理念に合致しています。



心臓が痛い

私（注：中国の山西省在住）には、同じ歳で兄弟のように仲が良い親友がいます。2018年に行われた彼のお母さんのお葬式で、私は財務と事務処理を担いました。退職した幹部だった相婿（あいむこ：姉妹の夫同士）が来られていて、同僚の関係もあって、私たちは自然と親しくなり、気軽に話すことができました。

私が皆に「人々の行いは神が見ておられる。頭上3尺に神がいる」と言うと、その相婿は話の穂をつなぎ、こう言いました。「あなたが言っていることを私も信じている。神佛の存在と言え、それは紛れもないことだよ。1966年から1967年の間のことだと思うが、文化大革命が始まって、私は小学校の

6年生で、あちこちでお寺を壊し、佛像を壊すことが盛んに行われていた。私たちの村には古くから大きな寺があり、本堂の『大雄宝殿』にはとても大きな如来像があった」

その日、担任の先生はクラスの全員に「佛像を壊しに行くから、唐鍬（とうぐわ）を持ってくるように」と言った。本堂に着くと、担任の先生は『まずは佛像の胸辺りから、佛の心臓を完全に掘り出して』と指示した。その佛像は作られた際、大きな銅製か銀製の心臓を入れられたと言われているからだ

「指示を出した途端、担任の先生は両手を胸に当て、しゃがみ込んだまま立ち上がれなくなった。

その直後、クラス全員が心臓に激痛を感じ『心臓が痛い！』と次々と叫び出した。怖くなった担任の先生は慌てて跪いて『やめる。やめる。全員学校に戻る』と言った。その後、皆は徐々に正常に戻ったのだ。本当に信じない訳にはいかない状況だった！」

「これは私が身をもって体験したことで、50数年経った今でも記憶に新しく、心に刻み込まれている！ このことは私の世界観と、その後の人となりや処世の態度に直接的な影響を与えた。憚りなく、勝手気ままに行動してはいけないと常に自分に言い聞かせている。そして冥冥（暗闇）の中に、世間のすべてをコントロールしている力があるといつも感じている」



口を修め、陰で人の短所に言及しない

宋朝の名人・呉賀（ごが）の母親・謝氏は、非常に厳しく子供を教育しました。呉賀がお客さんと話すとき、母親はいつも屏風の後ろで話を聞いていました。謝氏は呉賀が徳を捨てる道に行くような内容を話しているかどうかを聞いていました。

あるとき、呉賀は偶然会ったお客さんと、ある人の短所について話していました。母親はそれを聞いて、非常に怒りました。お客さんが帰ってから、母親は呉賀を杖で何度も叩きました。

親戚の人が母親を慰めるためにこう言いました。「人の長所と短所に言及すること、これは学者にとってよくあることです。大きな過失とは言えないでしょう。あなたは子供をそんなに叩く必要がありますか？」

母親はため息をついて言いました。「自分の娘を大切にすることは、必ず慎重に話をする学者のところに自分の娘を、嫁がせるという話を聞いたことがあります。私は、ただ一人の息子しかいませんので、私は彼に道義が命に関わっているという道

理を分かってほしいのです。彼が今、慎重に話をしなかったこと自体、自分の母親のことを忘れてしまったのです。これは長く世を渡る方法ではありません」

神伝文化の中でも、慎重に話をすることを提唱しています。修煉界では「口を修める」ことを要求しますが、一言で人を鋭い槍や刀よりもっと酷く傷つけてしまうかもしれません。しかも、話が口から出ると、もどに戻せません。すると、恨みを作ってしまう、災難をもたらしま

す。そのため、徳を重んじる人は、「口を修める」ことを重視し、陰で人の悪口と短所に言及しません。彼らは人の過ちに気づいたら、堂々と相手のために思って指摘し、補ってあげます。逆に、自分にもこのような不足があるかどうかを確認します。

呉賀は母親の厳しい指導の下で、それから自分に厳しく要求し、徳を重んじ、最後には、当時の名士になりました。

迷いの中で私は希望の道を見つけた

1998年、私が人生の分岐点に立っていた時、巨大な善の力が私を希望に満ちた明るい道に導きました。私はもう迷わずに前進し、人生の新しい1ページが開かれました。

欲望の深淵に落ちる



1993年、私は他の人と一緒にモデル事務所を立ち上げました。数年後、中国全土から100人以上の若く美しいモデルが集まり、国内外の多くの有名ブランドの広告活動に参加しました。会社の知名度が上がるにつれて、私たちの事業領域も広がっていきました。

当時、マカオのマフィアのボスが私に近づき、長期的な取引や売買をしたいと言いました。つまり、高額な紹介料で女の子を紹介して風俗嬢にさせたいということでした。私はこのようなことをするのは良くないし、違法であることを知っていました。秘密裏に地下で行わなければならない、人を傷つ

け、自分自身も傷つけることになることが分かっていました。また、これに関わると、私の人生が大きく変わることになり、豪邸に住んで高級車を所有する富豪生活を送るかもしれませんが、同時に絶望的な深淵に落ちるかもしれないことをよく知っていました…。

突然、転機を迎える

ためらいながら、どう選択すべきか分からない時、冒頭で述べたように、私の運命は突然転機を迎えました。

1998年11月のある日、私は公園を散歩していたとき、以前から探していたが見つけれなかった法輪功教室（煉功場）に出会いまし

た。人々は太陽の下で静かで平和な雰囲気の中で座禅していて、まるで理想郷にいるようでした。私はとても興奮して、すぐに『轉法輪』という貴重な本を手に入れました。

偶然のように思えますが、これは全く容易に得られたものではありませんでした。それは8カ月前に遡ります。その時、新年が過ぎたばかりで、故郷の人から『轉法輪』という本を紹介されました。数十ページ読んだだけで、私の体に反応が現れ始めました。最初に15日間頭痛があり、それから15日間下痢しました。その後、重い風邪と発熱にかかり、また15日間苦しんでい

ました。45日間、私は病気に苦しみ続けました。しかし、不思議なことに、通常ならば私はすでにくたび果てていたはずですが、その1カ月半の間、私の精神状態は非常に良く、仕事や生活は全く影響を受けませんでした。45日後、私は体全体にかつてない軽さを感じました。私は本をその人に返す際に、「法輪功の気功教室はどこにありますか？」と尋ねましたが、彼はわからないと答えました。

気功教室は見つからなかったし、本も返したので、法輪大法が自分が求めるものだと心でわかっているにもかかわらず、生活や仕事の忙しさのためこの件は忘

れてしまっていました。11月のある日、公園で法輪功の煉功場を見つけたことで、再び私の記憶が呼び起こされました。自分がついに法輪大法と出会えたと知り、私は真の法輪功学習者になることを決意しました。

煉功して身体が健康に

これまでに、私の体には奇妙な現象が時々現れることがありました。発作が起こると、全身が息切れし、だるくなり、気力が失われ、魂が抜けたかのように

なり、ベッドに横たわるしかなかったのです。病院で検査を受けましたが、現代医学では説明できませんでした。神経性頭痛、胃病、腰痛などの病気に悩まされ、毎日薬を大量に飲んでも改善されませんでした。

まじめに法輪功を修煉し始めてから、私の身体はかつてないような変化を起こし、特に煉功をする時にはより明らかに感じます。最初に学んだ第1式の時、師父が「伸ばす」と言うと、私の体の中の全エネルギーが瞬時に頭頂部や指先に向かって流れていくのを感じます。師

父が「緩める」と言うと、このエネルギーが私の全身に流れ込みます。これにより、私はこれまでに感じたことのない快適さと軽さを感じました。第2式の時、両腕を頭上に持ち上げたとき、私の目の前に古風な庭園が現れ、鳥の鳴き声と花の香りが漂い、さらに、二人の少年少女が微笑んで私の前を通り過ぎました。このような現象が数日間続きました。

後に師父の説法の録音を聴いたときに分かったのですが、師父が私に別の空間の景色を見せ、修煉をし

かりと続けるように励まして下さったのです。私は師父が話されることを信じています。私は本当の景色を見たからです。これにより、私は吹き込まれてきた無神論の考え方を捨てることができました。見えない、触れられないものが存在しないわけではないことを知りました。私が以前持っていた見識

は非常に浅く、次元が低く、偏見でした。

最も幸せな時期

私の心は真・善・忍の強力なエネルギーに包まれ、悪い考えがなくなり、悪いことを思い出すことすらできなくなりました。この道徳が低下した世の中で、私は法輪大法という浄土を見つ

け、道徳を向上することができた事を幸運に思います。

それは、人がどれだけお金を稼いでも、生まれるときに持ってくることができず、死ぬときも何も持っていきません。ただ功德だけが、主元神に残ります。私が富豪になったとしても、せいぜい数十年の短い間です。そこで、私はためらうことなく、マフィアのボスからの申し出を断り、それ以降、同様のことで私を探しにくる人はいなくなりました。

大法を修煉した後、私は真・善・忍の原則に従い、会計上ではもうウソの帳簿をつけて脱税したり、コネや裏口

を使って罰金を逃れたりしません。正々堂々とビジネスを行い、顧客に対しても誠意をもって接し、できる限り顧客のために尽くします。こうして、顧客はますます増え、古い顧客も安定していて、会社の業績は急上昇し、事業はますます発展しています。

私の希望の道

1999年7月、中国共産党（以下、中共）は法輪大法を迫害し始めました。テレビ、ラジオ、新聞、雑誌などのすべてのメディアを操り、法輪功と法輪功学習者を中傷し、中国だけでなく世界中の人々を害しました。私は法輪大法

を修煉することで心身の恩恵を受けた者として、中共の嘘を暴き、真相を伝える責任があります。そこで、私は周りの修煉仲間とともに、町や村に出かけ、法輪功について人々に伝え続けました。

私は何度も不当に逮捕され、拘束され、重刑を言い渡されましたが、私は後悔したことはありません。なぜなら、大法修煉の中で培った慈悲心は、真相を知らない世間の人々こそが本当の被害者だと気づかせてくれたからです。人々に真相を伝え、脱党を勧めていくことが、私の希望の道なのです。



カナダの弁護士「人類に新年の最高の贈り物をくれた李先生に感謝します」

『なぜ人類が存在するのか』を読んだある弁護士の感想

■カナダの弁護士ジョエル・エティエンヌ氏と家族



カナダの弁護士ジョエル・エティエンヌ氏は、李洪志先生の『なぜ人類が存在するのか』を読んで感動し、「人類に新年の最高の贈り物をくれた李先生に感謝します！」と、興奮気味に話した。

エティエンヌ氏は23年間カナダの弁護士として働き、現在はトロントで訴訟法・規制法の弁護士として活躍している。CBCラジオやテレビ番組のレギュラーゲストとして、訴訟法、行政法、規制法の様々な側面について一般市民を啓蒙している。また、トロントのユダヤ教会長も務めている。近年、同氏

は、『赤い悪魔の爪』など、カナダのテレビ連続ドラマや映画で脚本家、プロデューサー、監督としても活躍している。

新年の最高の贈り物を受け取る

エティエンヌ氏は、『なぜ人類が存在するのか』を読んだとき、この上ない喜びと感動を受けたという。「新年早々、何億人もの学習者に多くの恩恵をもたらす李先生の指導を受けられ、最高の新年の贈り物になりました。私は、この贈り物を受け取った幸運とご恩に感謝します」

エティエンヌ氏は、西洋社会では、多くの人が物質的な所有物や資源が不足しているのではなく、むしろ精神的な導きを非常に渴望していると考えている。「特にソーシャルメディアでは、心身の健康を改善する方法について議論され、研究している人々をよく見かけます。人々は一般的に、大きなストレスや心理的な疾病によって、困惑や苦痛を感じています」と語る。

「これは、実はどの民族、どの国でも抱えている問題です。勉強中の学生でさえも、過度のストレスから派生する心の病に苦しんでいるの

に、しかし教師も専門家も心理学者も彼らを助けることができないのです」「まず医者に行き病気を治してもらいますが、内心の苦痛は本当の意味で緩和されていません」

子ども達と一緒に「なぜ人類が存在するのか」を読む

エティエンヌ氏は、西洋人の視点からこの文章を理解しているという。「李先生は、全人類が切実に取り組むべき問題と解決策を、核心をついた言葉で表現しました」

「子どもの一人が、『お父さん、このメッセージは一つの鍵だよ』と言いました。一

文字一文字がもたらすエネルギーと思ひやり、および一文字一文字の重さは、とても複雑な迷宮を開けたようでした。一般市民として、この鍵を得ることができ、とてもうれしく思います」

「もう一人の子どもは、この文章が本当の愛を伝え、それは全人類に対する愛だと言っていました。私もそう思いますし、それは大切なことだと思います」

「李先生があらゆる人種に言及したことで、世界中の人々が人間に生まれたことの特別さを感じ、そして自分を大切にようになります。李先生は一つの国や地域、人

種と人に語っているのではなく、全人類を対象としているのです」

エティエンヌ氏は「子ども達は、人間が経験する苦痛の背後に、より神聖な使命を果たす目的があるとは思っていませんでした」と語る。

子ども達も、意義があると感じたという。「日常生活でどうすればより良い人間になれるか、人に良い影響を与えられるように、人と関わる必要があることを話し合いました」

エティエンヌ氏は、「この文章は、生活の中で苦痛と困難を経験をすることで、人は

神になれるという希望のメッセージを伝えています。苦痛のときは薬を飲めば、感情をコントロールできるようになり、良くなります。しかし、自制心や意志力、自分の感情をコントロールする方法を本当に学んでいるわけではないのです」

エティエンヌ氏は、教会に行き神に祈りを捧げてから帰るので、日常生活の中で信仰の実践を現すことは困難だという。「しかし、法輪大法の学習者は、肉体面では毎日、煉功と座禅をすると同時に、精神面では自分のレベルを高めて、肉体と精神のバランスと調和を図ります。学習

者は、自分の信念の実践に努めることで、精神面の次元を高めていきます。これはすべて私たちにあって前代未聞のことであり、人間にそのような秘められた潜在能力があることすら知りませんでした」

時空を超えて法輪大法の素晴らしさを目の当たりに

エティエンヌ氏は、法輪功学習者に初めて出会った場面を回顧した。「23年前、私は迫害に苦しむ法輪功学習者から声をかけられました。私たちユダヤ人も歴史の中で2000年の迫害を受け、ここ50年は西洋社会で安全な生

活ができるようになりました。だから、私は当時の学習者の苦しい気持ちを理解します。私も彼らと同じ目に遭っていたので、力になりたいと思ったのです。その時から、法輪功学習者を支持してきました」

エティエンヌ氏はこの過程で、法輪功の価値観や人々と接する原則を学び、そこから大きな恩恵を受けたという。

弁護士のエティエンヌ氏は法輪功学習者と接することで、彼らの考え方を学んだと実感している。「私は多くの欲望と執着を持っています。条件反射のように、私はいつも法輪大法が執着を放下するように教えていることを思い

出します。そうすることで、自分の心の調和が取れ、ポジティブになっていることを発見しました」

エティエンヌ氏は最初の頃、学習者たちが助けを求めていたと思った。「しかし今になって気付きましたが、私が得られた恩恵は、提供した助けよりはるかに多いのです。法輪大法の素晴らしさを知った私は、毎日の生活の中で大法が教えた思惟方式を用いて、自分を向上させ、穏やかな状態に達しています」

中国共産党の本性をはっきり認識し、伝統的な正しい信念に立ち返る

エティエンヌ氏は、中国共産党が宣伝している無神論

は、人々に伝統文化や信仰の継承を失わせたと語る。中国共産党は生命を軽視しており、人々に空虚を感じさせているという。

エティエンヌ氏は、李先生の文章は、私たちが良い行いをすることで自分の精神的なレベルを高めると同時に、墮落しないように警告していると話す。

また、エティエンヌ氏は、中国で何千年も前から修煉の文化が受け継がれてきたことを知っているという。「そして今、私たち西洋人も法輪大法を通じて伝統的な修煉文化を知ることができ、私は信じられないほど幸運だと感じています。なぜなら、今の社会

では、この文化、自己啓発の道はほとんど失われていると感じているからです」

エティエンヌ氏は、「この文章には、李先生の知恵が現れています。これは一通の招待状であり、その招待状を手にして、まるでエレベーターに乗り込んでいるようで、直接最上階までたどり着いたようです。西洋社会にとって、法輪大法はかけがえのないものです。人々が日常生活の中でどのように修行すればよいかを具体的に教えてくれるので、人々がそれを実践することができ、修煉によって確実に高次元の生命になります」と、最後に述べた。

「なぜ人類が存在するのか」の全文は明慧ネットで読むことができます

李洪志師父の発表
なぜ人類が存在するのか



20年以上継承された 「4.25平和陳情」の精神

今年の4月25日は、「4.25平和陳情」24周年となる。

1999年4月25日、1万人の法輪功学習者が、北京の中南海にある陳情オフィスを訪れ、静かな陳情活動を行った。当時、このことは全世界を驚かせた。その理性的、平和的な姿は世界各国で報道され、高く評価された。

当時、法輪功は口コミで中国全土に広がり、学習者は7,000万人を超えていた。

しかし、同年7月、中国の元国家主席・江沢民が権欲と嫉妬心からすべての国家機関、権力機構を利用して法輪

功への残酷な迫害を開始した。

それから24年間、世界130カ国の法輪功学習者たちは理性的、善なる態度で迫害の実態、法輪功の素晴らしさを伝えている。法輪功学習者たちが平和的に迫害停止を呼びかけて続けるのは、法輪功の「真・善・忍」という基準を着実に実践し、「4.25」の平和的な精神を継承しているからだ。

天津での暴行事件

事の発端は1999年4月23日、天津市公安局が法輪功学

習者45人を暴行し、不当に逮捕したことだ。

北京テレビで1998年5月、中国宣伝部で働いていた中国科学院の何祚庥(か・そきゅう)が、法輪功を誹謗中傷する内容を放送した。しかし、後にそれは虚偽であることが証明され、テレビ局は訂正番組を速やかに放送した。

1999年4月11日、何祚庥はその虚偽情報を再び、天津教育学院の雑誌に掲載した。江沢民の弾圧計画のもと、法輪功を中傷するデマを社会に広めるためだ。江沢民は1997年、公安部に全国的な調査を



■1999年4月25日、自発的に集まった1万人の法輪功学習者が、警察に「誘導され」、中南海の周囲に並んだ。穏やかで平和的な陳情活動は、「中国でも大規模、最も理性的・平和的、最も成功した陳情」と海外メディアで称賛された。



行かせたが、法輪功に関して問題は一つ見つからなかったという。

天津市の法輪功学習者は4月18日から24日にかけて、天津教育学院などの関連機関へ行き、法輪功を学んで受けた恩恵や体験を説明し、虚偽情報の訂正を求めた。4月23、24日、天津市公安局は300人以上の機動隊を出動さ

せ、事実を説明しに行った学習者を暴行して追い散らし、45人を不当に逮捕した。一部の人は出血して負傷した。

事実を訴えても取り合ってもらえず、さらに暴行・逮捕された人もいるため、学習者は天津市政府へ向かった。

天津市政府が北京での陳情を「奨励」

事件解決を願う学習者たちが市政府に集まった。中から出てきた役人が、「教育学院の記事の件は、公安局がすでに介入しているため、市政府では解決できない」と話した。学習者が「そうすると、どこへ報告すればいいでしょうか?」と聞くと、役人が「北京へ行って陳情すればいい」と「奨励」し、國務院陳情オフィスの場所を教えた。4月24日のことであった。

「4.25」北京での陳情

天津と北京周辺の学習者が先に陳情オフィスに着き、早朝から長い行列ができた。1万人が自発的に集まったが、警察は学習者たちを誘導し、中南海を「包囲」するよ

うに並ばせた。参加者の話によると、「私たちが立っていた場所は、陳情オフィスから遠く離れていて、中南海がどこにあるかも分からないので、順番に並んだ」という。

学習者は通行人の妨げにならないよう静かに待機し、陳情オフィスに「①天津で不当に逮捕された学習者を釈放すること、②自由に法輪功を学ぶ環境を国民に与えること、③法輪功書籍の出版を許可すること」を要求した。

朱鎔基首相が天津に人を解放するよう指示

午後、列の中から「朱鎔基首相がすでに、天津の学習者の解放を指示しました」という声が聞こえた。

その後、天津から電話で、「連行された数人の知り合いが釈放された」との連絡があった。当時、多くの学習者がお互いに知らないため、確認は取れなかったが、おそらく全員が釈放されたということだった。

現場をきれいにした後、静かに解散

夜8〜9時頃、学習者の中から「報告すべき事がほぼ終わったので、解散の準備をしてください」との話があった。その時、学習者たちは、自分の周りの紙やタバコの吸殻などを拾っていた。一部の学習者は、警官が立っていた場所に行き、彼らが投げ捨

てたタバコの吸殻も拾っていた。

事件が平和的に解決された後、1万人の法輪功学習者はすぐに静かに解散した。以上が、中国共産党が「4.25平和陳情」を「中南海包囲」と称した本当のいきさつだ。

継承し続ける理由

1999年から現在に至るまで、20年以上続く中国共産党の迫害に直面しても、「4.25」の精神は決して失われることはない。法輪功学習者は大きな善と大きな忍を心に抱き、迫害の実態を暴き続け、平和的に迫害停止を呼びかけている。法輪功学習者

がこのように貫いてきたのは、自分の信念のためだけでなく、人々の自由と基本的人権のためでもある。

中国共産党は長い間、法輪功への迫害を続けており、中国人だけでなく全世界を巻き込んでいる。真・善・忍を弾圧することで、偽・悪・闘を社会に蔓延させているのだ。

一人でも多くの人が、法輪功学習者のように「4.25」の精神を継承し、平和的かつ理性的に迫害に反対することができれば、近い将来、共産党のない自由な生活と明るい未来を切り開く日を目にすることができると信じている。

